

平成30年度 第2期

えるのす連続講座

～女性大学～ 社会とつながり、心豊かに

月日	演題	内容	講師
9/26(水)	親子法のヒューマニズム	親子関係に関わる民法上の問題について、受講者の皆さんとお話しながら、ヒューマニズムの観点から考えていきます。世知辛い世の中、親子をめぐる明るい・温かい情報をお伝えします。	北星学園大学経済学部 経済法学科 教授 足立 清人
10/2(火)	太陽系の起源と はやぶさ・はやぶさ2	小惑星探査機はやぶさは人類史上初めて小惑星の試料を地球に持ち帰り、はやぶさ2は小惑星試料採集に挑戦中です。これらの試料には太陽系形成当時の様子が記録されています。次々と明らかになる太陽系の起源を共有しましょう。	北海道大学大学院 理学研究院 教授 塚本 尚義
10/9(火)	文学作品から考える 19世紀フランスの 恋愛観・結婚観	『ボヴァリー夫人』など、19世紀フランスの文学作品を分析し、当時の女性たちがどのような立場に置かれ、彼女らの恋愛観や結婚観がどのように形成されたのか考察します。	北海学園大学経済学部 経済学科 准教授 一條 由紀
10/16(火)	北の動物たちの歴史 ：面白い生態話と共に	野生の王国北海道。ここに住む動物たちは我々ホモ・サピエンスが侵入するよりずっと昔から暮らしていました。面白い生態トピックを交えながら、北の動物たちの歴史を紹介します。	北海道大学大学院 地球環境科学研究院 准教授 小泉 逸郎
10/23(火)	女性大学で学ぶ、ということ －女性と学習の歴史をひもとく	市井の女性たちは、村で工場家庭で、働きながら様々な学びの場をつくってきました。「女性大学」もまたその一つでしょう。なぜ、どのように、女性たちは学んできたのか、日本の戦後史をふりかえって見ていきます。	北海道大学 教育学研究院 准教授 辻 智子
10/30(火)	松前藩の“意外史”	江戸時代、北海道の支配者だった松前藩には、外部世界との「窓口」という重要な役割がありました。激動の世界と向き合った小藩の歴史を、エピソード豊かにたどります。	札幌大学 女子短期大学部 助教 濱口 裕介
11/6(火)	栄養は健康寿命のカギ	栄養は健康寿命をのばすという点において非常に重要です。年を重ねても元気に暮らすために栄養がいかに大事であるのか、また、気をつけるべきポイントは何かをお話いたします。	北海道科学大学保健医療学部 看護学科 准教授 大内 潤子
11/13(火)	先史文化からみる 北海道の歴史	北海道に最初にやって来た人は、どんな生活をし、どんな文化を持っていたのか。当時の環境を踏まえながら、考古学の視点で北海道の歴史についてお話しします。	札幌国際大学人文学部 現代文化学科 准教授 坂梨 夏代
11/20(火)	韓国“再発見”の旅 ～変わりゆく隣国の今～	冬季オリンピックや南北会談など、今年は韓国にとって大きな1年でした。観光旅行では見ることのできない隣国の経済社会・文化の今を、専門研究者の視点から紹介します。	北海道情報大学経営情報学部 先端経営学科 准教授 福沢 康弘
11/27(火)	現在(いま)を知る	政治、経済、社会、生活、文化、国際報道など、世の中の動きや出来事を読み解き、考えます。	北海道新聞社論説委員室

主催 公益財団法人 北海道女性協会
後援 北海道・札幌市・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary